

# 大阪医科大学 2018年度(前期)入学試験 解答速報 英語

2018年1月28日 実施

## 問題 I

- (1) 試行錯誤のみに基づく行為は、状況に翻弄されることになる。状況は変化することがあり、その結果、なされた行為が予想通りに運ばないのだ。
- (2) 言い換えると、思考とは我々の行為と生じた結果の間にある特定の関係を見出そうと意図的に努力することであり、その結果その両者が連続的につながるようになるのだ。
- (3) どれほど賢明な人でも、せいぜいできることと言えば、現在起こっていることをより幅広くより綿密に観察し、そして、将来起こることを示す要素だけを、気付いたことの中からより注意深く選び出すことくらいだ。
- (4) 型にはまった行動と気まぐれな行動はどちらも、現在の行為から生じる未来の結果に対して責任を認めようとししないのだ。

## 問題 II

- (1) 彼女がすぐに一位の座を明け渡す可能性は低い。というのも彼らの研究によると、高齢に達する人の数は毎年増えてはいるものの、人の寿命は 115 歳前後で頭打ちになっていると思われるからだ。
- (2) 研究者たちはまた、死亡年齢の最大値の記録は 1970 年から 1990 年代初頭にかけては急速に上昇し、毎年 0.15 歳程度伸びていたのだが、1990 年代半ば以降 115 歳前後から変わらないままであるということも発見した。
- (3) 彼女によれば、身体全体が衰えていくという問題は、治療行為によっては解決できないのであり、見込みがある唯一の方策は老化そのものを遅らせることなのだ。

### 問題Ⅲ

(1) Increasing media attention to science may be thought to help improve our knowledge of science.

[別解] The fact that mass media have raised the concern with science seems to suggest that they contribute to the development of our scientific knowledge.

(2) According to research recently published, however, it is said that about half of the news like this exaggerates its experimental results.

[別解] But recent research results show that almost half of the news like this is overstating the outcome of the experiments.

(3) We must realize that the more news we accept without question, the more likely we are to get away from ideal scientific thinking.

[別解] We must be aware that as we soak up more scientific news without thinking critically, we get farther away from the scientifically desirable approach.

### 講評

- I [和訳] : (やや難) : 難化。プラグマティストの John Dewey による思考に関する英文。(3)の構造にやや取りにくい部分があった。
- II [和訳] : (標準) : 大幅に易化。寿命が頭打ちになっているという最近の研究内容を扱った英文。
- III [英訳] : (標準) : やや易化。科学的発見のニュースを聞くときの態度に関する内容。語彙の選択に悩むところはあるが、きわめて標準的な内容の英作文。日頃から科学系の文章に親しんでいれば書きやすい。

大問構成は例年通り 3 題。大問Ⅱの説明問題がなくなり、大問Ⅰと同様下線部和訳のみとなった。全体としてはやや易化。目標は 65%

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴォア天満橋

フリーダイヤル ☎0120-146-156

<http://www.mebio.co.jp/>

